

団体名	はずの会
活動テーマ	家族や愛する人を失った方々を支える



2017年3月5日、東大阪市内にてはずの会主催講演会『「泣いてもいい」～抱えきれない悲しみ』を実施した。上智大学グリーフケア研究所特認所長の高木慶子先生の講演の後、参加者は4～7人ほどのグループに分かれて大切な人を亡くした体験や気持ちを分かち合った。

はずの会設立は2012年3月なのでこの3月で丸5年になる。はずの会主催の講演会も6回目を迎えた。前回と同様、HPおよびチラシを作成し告知を行った。毎回講演会に40～60名、その後の分かち合いに20～25名の参加がある。

高木慶子先生は約30年間遺族会での活動実績をお持ちで、ターミナルケアの現場においても豊富な経験があり、阪神大震災や東日本大震災をはじめとする災害現場におけるケアの経験も多い。これまでに対応したさまざまな事例や、時には先生ご自身の体験の中で感じられたことを語られ、心の琴線に触れたのか参加者の中には涙を流す者も見られた。講演後はグループに分かれての分かち合いを実施した。設立当初は少なかった自死遺族の方や犯罪被害者の方などの参加も増えてきており、より多様な背景を持つ遺族のニーズとスタッフの研鑽の必要を感じている。